

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 地すべり対策事業

事業コード (H22-農-継-11)
箇所名 (由利本荘市東由利)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業未実施の影響					
	中止・休止による農地・農業用施設への影響	地すべりの発生原因があり、与える影響が大きい 地すべりの発生原因があるが、与える影響は小さい 地すべりの発生原因があるが、与える影響はない	5 3 0	5		
	計		5	5		
	緊急性	災害発生の危険度				
緊急性	人命への影響	災害の発生により人命に危険がある 人命への危険はほとんどない	5 1	5		
	農地、農業用施設被害の除去	農地、施設への被害が甚大である 農地、施設への被害が懸念される 農地、施設への被害が懸念はほとんどない	10 5 1	10		
	地すべりの兆候	地すべり地形が明瞭で、早急な対応が必要である 地すべり地形が不明瞭だが、対応が必要である 地すべり地形が不明瞭だが、将来は対応が必要である	5 3 1	5		
	計		20	20		
	有効性	当初計画の具体的効果発現				
		地すべり防止効果の達成率 (地下水低下等)	100%以上 80%以上100%未満 80%未満	10 5 1	5	
整備の効果						
農用地、農業用施設の保全		農地、農業用施設への被害を防止又は軽減することが見込める 保全効果が多少期待できる 現状と変わらない	10 5 0	10		
一般・公共施設の保全		一般・公共施設への被害を防止又は軽減することが見込める 保全効果が多少期待できる 現状と変わらない	5 3 0	5		
上位計画への貢献度						
ふるさと秋田元気創造プランでの位置付		戦略を支える取組として貢献度が高い 戦略を支える取組に間接的に貢献する 戦略を支える取組への貢献度は低い事業である	10 5 1	5		
計		35	25			
効率性	事業の投資効果					
	費用対効果	B / C = 1.0以上 B / C = 1.0未満	5 0	5		
	事業実施コストの縮減					
	対策内容	効果が発現している 実施している 検討中である	5 3 1	5		
計		10	10			
熟度	事業の推進					
	事業に関する住民意識	地区指定看板を設置し、事業内容を周知している 地区指定看板の設置はないが、事業内容を理解している 地区指定及び事業内容を知らない	5 3 0	5		
	前年度までの進捗比	計画より進捗している おおむね計画どおり (90%以上) 計画より遅れている (90%未満)	10 5 1	5		
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない 課題は解決の見込みがなく、事業の停滞が予想される	5 3 0	5		
	他官庁との協議調整	協議・調整済みで事業推進に影響はない 協議・調整中であるが事業推進に影響はない 協議・調整中で事業推進に影響する	5 3 0	5		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	十分に配慮している 配慮している 配慮が不十分である	5 3 0	5		
計		30	25			
合計			100	85		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 地すべり対策事業

事業コード(H19-農-再-3)
箇所名 (由利本荘市東由利)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	あきた 2 1 総合計画との位置づけ	施策目標の中核事業であり貢献度が高い 施策目標に間接的に貢献する 施策目標とは別のその他関連事業である	10 5 0	5	
	事業未実施の影響				
	中止・休止による農地・農業用施設への影響	地すべりの発生原因があり、与える影響が大きい 地すべりの発生原因があるが、与える影響は小さい 地すべりの発生原因があるが、与える影響はない	5 3 0	5	
	計		15	10	
緊急性	災害発生の危険度				
	人命への影響	災害の発生により人命に危険がある 人命への危険はほとんどない	5 1	5	
	農地、農業用施設被害の除去	農地、施設への被害が甚大である 農地、施設への被害が懸念される 農地、施設への被害が懸念はほとんどない	10 5 1	10	
	地すべりの兆候	地すべり地形が明瞭で、早急な対応が必要である 地すべり地形が不明瞭だが、対応が必要である 地すべり地形が不明瞭だが、将来は対応が必要である	5 3 1	5	
	計		20	20	
有効性	当初計画の具体的効果発現				
	地すべり防止効果の達成率(地下水低下等)	100%以上 80%以上100%未満 80%未満	10 5 1	10	
	整備の効果				
	農用地、農業用施設の保全	農地、農業用施設への被害を防止又は軽減することが見込める 保全効果が多少期待できる 現状と変わらない	10 5 0	10	
	一般・公共施設の保全	一般・公共施設への被害を防止又は軽減することが見込める 保全効果が多少期待できる 現状と変わらない	5 3 0	5	
環境との調和への配慮状況	環境保全への配慮	十分に配慮している 配慮している 配慮が不十分である	5 3 0	3	
	計		30	28	
	効率性	事業の投資効果			
効率性	費用対効果	B / C = 1.0 以上 B / C = 1.0 未満	5 0	5	
	事業実施コストの縮減 対策内容	効果が発現している 実施している 検討中である	5 3 1	3	
	計		10	8	
熟度	事業の推進				
	事業に関する住民意識	地区指定看板を設置し、事業内容を周知している 地区指定看板の設置はないが、事業内容を理解している 地区指定及び事業内容を知らない	5 3 0	5	
	前年度までの進捗比	計画より進捗している おおむね計画どおり(90%以上) 計画より遅れている(90%未満)	10 5 1	5	
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない 課題は解決の見込みがなく、事業の停滞が予想される	5 3 0	3	
	他官庁との協議調整	協議・調整済みで事業推進に影響はない 協議・調整中であるが事業推進に影響はない 協議・調整中で事業推進に影響する	5 3 0	5	
計		25	18		
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度が高い	80点以上		
	優先度が低い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		